

# 蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆

近藤龍弘

〒940-0052  
長岡市神田町1丁目4番地10  
TEL.(0258) 32-2811

◆スタッフ◆

小林国二 小林善秋 高橋潔 加瀬由紀子  
室賀清輝 近藤マリ子 近藤善信  
後援・株式会社アサヒ  
印刷・(株)北越時報社



長岡祭での「ナイアガラ」と「正三尺玉」花火

ご家族の皆さままでご覧ください

## 如何なる場合でも 自然に受け止め 今を生きる

翠巖 龍弘

はどうすることも出来ない事柄も次々に起こったり致します。自然災害、事故、病等々。思惟すれば生まれくる時代、国、家庭、男女等、計らいを超えて縁あってお互い誕生したわけです。

私も十年前、本堂大改修、開山・位牌堂等の新築工事の完成直後母親の葬儀、落慶法要・先住七回忌法要とつづき、了つて疲れがでたのか気が緩んだせいか体調を崩し、桜が咲き始める頃から三週間程入院する羽目になりました。私の意志に反して体が勝手に悪くなったのです。

しかし、この入院生活は大変貴重な経験でした。いままでにあつた、自分が頑張つて生きているんだという傲りが打ち砕かれ、俺が、が吹き飛ばされ、人間の弱さを感じ、また病院関係の方々をはじめ多くの人の誠の優しさを実感し、生かされていている自分、無常を理屈抜きで観じさせられました。入院前は自分がいなかつたら安善寺はどうなるのかの思いも、退院してみると世の中、私の存在にか

わりなく動いており、変わったものは葉のなかつた枝々が新緑に満ちていたことです。真に無常です。自分には悪い事、避けたいことと思つた事が逆に自分を育ててくれ、他人の痛みが観じられ、人間にとつて何が本当に大事なのか思慮する機会を与えてくれるのではないのでしょうか。

災害を含め、あらゆる状況を自然に受け止める事が出来たならば、正岡子規の「如何なる場合にも平気で生きて居る事であつた」という心境に近づくことが出来るのではないのでしょうか。

上の写真は長岡祭りの大花火大会の三尺玉です。長岡は明治元年の戊辰の役、昭和二十年の大空襲と、過去二回街が焼け野原となりましたが見事復興致しました。長岡祭りは復興祭としてスタートし、今日に至っております。お互い限りある人生です。これからも色々な事があるでしょうが、自身を育ててくれると思ひ、前向きに尚、安心に今を生きていきたいものです。

人間はおのおのものの見方をもっている。

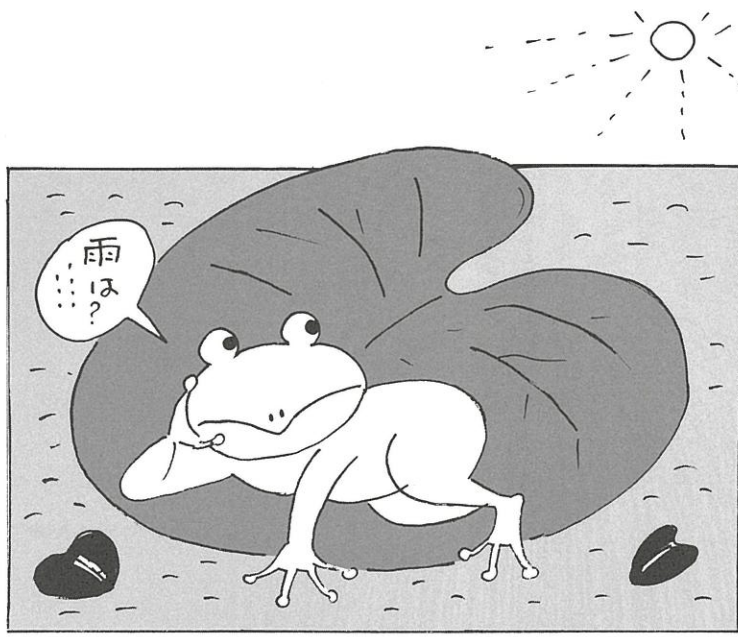
そして同じ一人の人間でも、時が変われば同じ対象に対して違った見方をする。—ベッカリア『犯罪と刑罰』



# 【大本山總持寺 雲水日記】

## 今年もまたお盆がやってまいります

近藤真弘



「本当に梅雨入りしたのか」というような天候が続く中、暑さも本格的になつてきて今年もお盆の季節が近づいてまいりました。新潟ではお盆は旧盆のため

八月ですが、總持寺のある関東近県では七月盆のところが多いです。修行生活二年の夏、私は師匠に「お前も今年から関東の棚経を勤めに行きなさい」と言われました。總持寺でも七月の十二日から十五日にかけて修行僧全員で担当地域に別れ棚経を勤めます。一年目の棚経で私は三日間廻りましたが、その年からは總持寺を二日間にしてもらい、十一月十三日は安善寺の棚経を勤めさせていただくことになりました。

七月に入ると安善寺より棚経に伺うお宅の名簿が送られてきました。名簿には名前と住所、電話番号、そして最寄りの駅やバス停の名前。まあそれだけの情報があればなんとかなるだろうと安心して当日を迎えました。

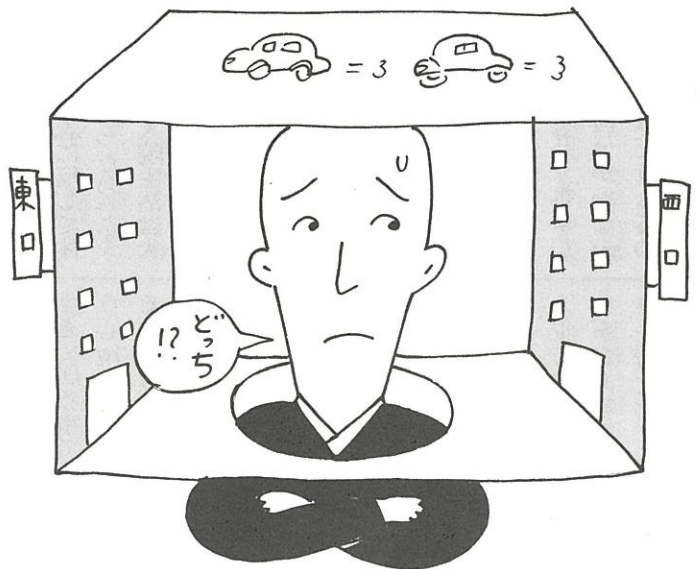
しかし甘かったです。東京に住んだことのない私にとつて電車の乗り換えは容易ではありませんでした。まず乗換で切符を買うときにどれを買っていいのかわかりません。ここで駅員

さんに尋ねます。何とか目的の駅に着くと西口？ 東口？ 改札を出たところの地図で住所の地名から判断して駅から出ます。次に迷うのはバスの乗り場です。降りるバス停はわかるのに乗る場所がわかりません。そんな時必ず駅前であつて助けられるのが交番です。お巡りさんに尋ね何とかバスに乗ることができ、目的の停留所で降ります。

ここで最後の難関、バス停から伺うお宅までの道程です。こんどはうまいこと交番はありません。頼りになるのは普段気に留めたこともない電柱に貼つてある番地番号！ 家の扉に貼つてあるところも多いです。電柱や扉を見ながら進み、段々と名簿の番地に近づいていきます。たいていはこれで到着し、表札を確認して

「ごめんください」となるのですが、ときには道に迷つてしまい、お宅に電話をかけたすみません、近くまで来ています。と、ご迷惑をかけるときもありました。電話で場所を言つて、そこまで迎えに来ていただき、まったく近くなかつたこと申し訳ないことをしたこともありました。

のお宅でも親切、丁寧に迎えていただき、気持ちよくお勤めをさせていただくことができます。そんな関東での棚経も今年で四年目。道の迷い方にも大分慣れてきた私の元にも、今年の名簿が送られてくるころです。そして今年もまた、この原稿が載った新聞を手は何軒かのお宅にお邪魔させていただきます。



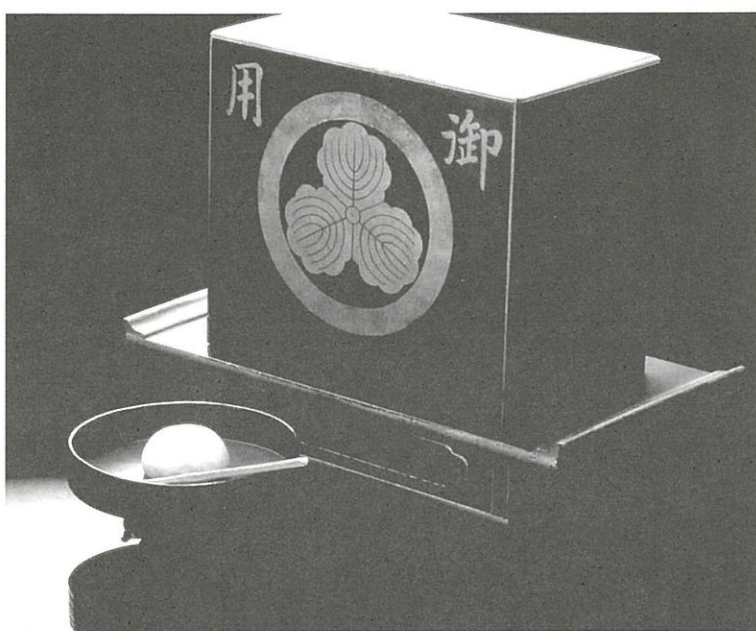
しかし到着するとどちら

鳥の歌声がいつも同じ調子にしか聞こえないというのは、無頓着な人間の粗雑な耳だけのことです。ローザ・ルクセンブルク『獄中からの手紙』



# お陰様で二百年

株式会社紅屋重正 代表取締役 椿紀代司



「おのが造る」との答え。お寺様つてうまいことを言うものだなーと思った。

「撃てし止まん」「欲しがりません勝つまでは」と第二次大戦のはじまりに入学。お絵描きは戦車飛行機軍艦。「大きくなったら何になる…」、「陸軍大将」「海軍大将」と即座に答え、

軍事教育を受けたもの。入学時は尋常小学校、途中で国民小学校、卒業時は尋常小学校に逆戻り。神国日本が戦に負けるなどとは夢にも思いもしなかった。

昭和二十年八月一日B29襲来。焼夷弾爆撃により長岡は火の海と化し、焼け野原となった。戦時中の統制経済により菓子屋は休業中とは言え、五代は全身火傷で二日に帰らぬ人となった。今後、菓子屋の継承が出来るのだろうか…、不安と疑念に駆られた終戦後の米、味噌、醤油

等々全て配給制度の食糧難の時代を経て、配給割当ての砂糖による菓子屋の共同作業で飴玉を作り、各個に米の配給通帳による配給などを始めとし、二十六年から随時稼業の復活に歩み出す。

昭和二十八年には京都菓子産業博覧会が開催され、「大手饅頭」作りも再開。本業も従前の記録を紐解きつつ、祖母や先人、先輩に見聞きしながら徐々に状況をとり戻していく。しかし待てよ、「一個七八円の菓子を二十四時間寝ずに作っても

幾らにもならない…、こんな業を男一生の仕事では？と疑問を抱き、少々グレ出し、祖母に酷く叱られ「業種を厭わず、人間、人として生活は大同小異、大差なし」と諭された。

を願う磨きをかける。菓子研究で茶の湯と出会い、掘り下げていくと宗教にたどり着く。考えて見れば、茶の湯の家元も、華道の家元もみな各流の僧侶であることに気づいた。

考えるに日本文化の種は、多くが中国から僧侶によって伝来し、その種が日本の中で独自の展開をし、その展開の独自性こそ「日本文化」の特徴のように思います。

当店の「大手饅頭」「酒饅頭」も聖一国禪師より、その製法を授かったのはじまります。いつの世もその時代の変革に、歴代当主は悩み、苦しみ、不安に駆られていたことは随所に見受けられます。と言うのも奈良東大寺、薬師寺、京都清水寺等々、はたまた儒学、儒教など、心払拭の信心に心砕いた経緯がそれとなく伺われます。そう言う私も、今年創

業二百年を期に伊勢神宮に参拝、奈良東大寺二月堂修二会に礼参して来ました。自然は神様にお任せ、心の問題は仏様に、歴史は例証、いつの世も「天下太平」「風雨順時」「五穀成熟」「万民平穩」を祈ることから始まり、立ち上がっていると言うことなんですね…。その行法に日夜献身される上人の方々には頭が下がります。どうか今後とも何卒よろしくお加護を賜りますよう衷心より伏してお願ひ申し上げます。

おわりに、創業の精神、家訓の一部をご紹介させて頂きます。

○本業に専念せよ

「業種と厭わず、人間、人として生活は大同小異、大差なし」

○節約を旨とせよ

「常に節約、我慢第一、金はまとめて、生きた金使いをせよ」

○師を求めよ

「常に師を求め、人格を磨け、心磨かざるものに光なし」

合掌

平成十七年五月は、手前ども「紅屋重正」は創業二百年の節目を迎えることができました。一八〇五年(文化式年)五月、初代飴屋庄五郎が大手門前に店を構え、爾来代々時代変遷の中、和菓子この道一筋継承し今日に至っております。これも一重に皆々様のご虫貞のたまものと感謝に耐えません。月の一日講に祖母に連れ

られ、お寺に遊びがてら寄せて頂いたことを物心のついて後に思い出す「悪い子になると地獄へ連れていかれるよ」と、賽の河原絵図や血の池地獄、蜘蛛の糸など怖ごわ見入ったものだ。ある日「火の車」の絵と話を聞いた時に、ふと疑問に思い「火の車は誰が造るの…」と質問すると「火の車造る大工はなかれどもおのが心



# 震災復興祈願花火 舞い上がれフェニックス

株式会社広井工機 廣井 晃

昨年、新潟県中越地域は、水害、地震により甚大なる被害を受けました。多くの方々が被災いたしました。また、中越地方に限らず、新潟県全体においても、観光産業をはじめとした各種産業に多大な被害を及ぼしております。

このような天災に負けず、現在も頑張っている中越地方をはじめとした新潟県全体の大勢の人々を元氣付けるために、また一日も早い復興を祈願し、世界一と誇れるような壮大な花火、さらに世界中の人々の復興のシンボル、またご支援いただいた多くの方々への感謝のシンボルとして、打ち上げる計画をたてました。

打ち上げは、長岡まつりの八月二日、三日の花火大会において上げる予定です。花火の内容は、従来の打ち上げエリアをおおはばに拡大して、長生橋から長岡大橋間の約二キロの範囲でスターマインを主にした花火を打ち上げます。

私達は、震災後の電気のこない生活を体験し、光には大きな安心感を持つようになり、また、新潟県民にとつて、花火は季節の風物詩だけでなく、いろいろな思いを込めたシンボルでもあります。瞬間的ではありませんが、きれいに咲いて散る花火は、『さくら』の花にも似たように感じるの、私

だけでは無いと思います。さて、今回の『フェニックス』は、一つのスターマインとしては、世界に類を見ないものです。このような計画が立てられるのも、信濃川という大きな自然のおかげです。この自然の恵み



も大切にしたいものです。この花火の効果を考え、被災された方々を勇気付ける事は無論のこと、観光産業は

じめとした地震により被害を受けたあらゆる産業の復興、活性化にもつながると思えます。また、世界一と言わないまでも、日本一の花火が上がるとなれば、評判となり、多くの人が長岡を訪れるでしょう。また、一度は

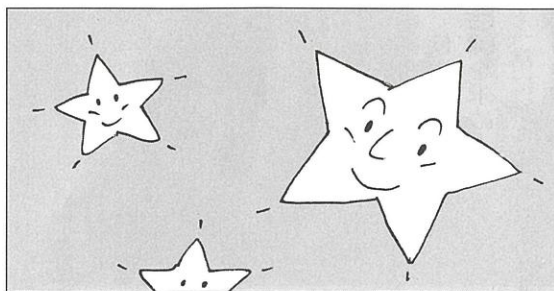
行ってみたい所となるでしょう。人の集まるところに、文化は生まれると思えます。こんな夢を実現するため、行政の区割りを超えて若

者達が動いています。一つの目的に向かい、損得無しのエリアを超えた行動は、まさに地震時のボランティアの姿に似ています。花火も若手花火師が集まり、どんな花火が良いか検討しております。こんな活動もあり例の無いことです。

現在、大きな問題を抱えております。それは打ち上げ資金です。市民一人が千円持ち寄れば三万人で、三千万円となります。口で言うのは簡単ですが、実際はなかなか大変です。長岡市政だよりに折込みでチラシを入れたり、会合で協賛金をお願いしたりして、協賛金を人の集まる場所やお店に設置したり、ダイヤルQを開設したりと色々な方法を取っています。Tシャツやバッジ、うちわ、それにビールなど、グッズ開発、販売も行なっています。

是非、花火の星に、みなさんの気持ちをこめてみませんか。花火も星ひとつではきれいに見えません。たくさん星が集まってき

れいな花火になります。ご協力をお願いします。



八月三日は、NHKのBS放送で花火の様子が中継されます。みなさんで上げる復興のシンボルを、感謝の気持ちをこめて全国の皆さんにご紹介できるでしょう。さらなるご支援、ご協力をお願いいたします。

問合せ先  
震災復興祈願花火打上  
実行委員会  
事務局

電話三四一〇〇六九  
(長岡青年会議所 内)



# 私は働きたい！―障害のある人の就労を支援して―

就業支援ワーカー 刀根久美

「まだ仕事は見つかりませんか？ 働かないと困るんです」電話の向こうで必死に訴える声があります。「ごめんさい、まだです」と謝る私があります。本当に困っていることがひしひしと伝わりますが、その声に伝えられない自分のもどかしさ。

一方、本人の努力では解決のつかないことが「怠けでは」「性格が悪いのでは」「不器用で何をさせてもミスばかり」と責められている人がいます。いわゆる発達障害といわれる人です。その人たちが「できること」に目を向け、働ける環境を整えていけば、ついに働けるといふことを理解していただきたい。

私は、旧越路町浦にある「障害者就業・生活支援センターこしじ」で就業支援ワーカーをしており、国の委託事業です。（県内

では3箇所）

主な業務として就労支援があります。障害のある人が働く際に、ご本人と事業所とそれぞれに抱えている不安を、間に立つて解消するために橋渡しをする役目です。それは、仕事そのも

のであったり、人間関係であつたりします。たとえば、仕事上の問題では、作業方法の工夫の提案とか、職場内でのキーパーソンを見つけ出してサポートを依頼するなど働きやすい環境作りをすることが挙げら

れます。また、就労生活を送っていく中で、生活面での支援も重要なポイントです。生活支援では、金銭管理面での助言や問題の解決、通院付き添い、諸手続きの同行や助言、余暇の支援などを行っています。

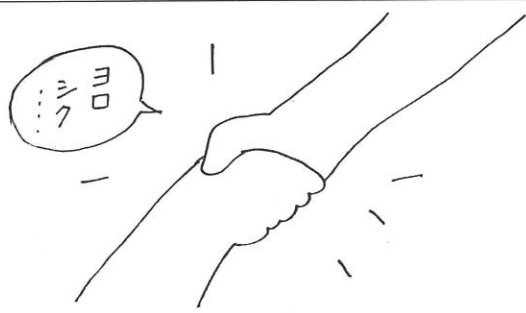
現在、登録者百五十九名。三年間で延七十四名の実習者、四十四名の就職の実績があります。

主な仕事の一つに、ハローワークや職業センターなどと密接に連携をとりながら会社訪問をして、就職や実習の依頼に回ることがあります。実りの少ないなかで力不足を詫言ながら、そこで、経営者側の思わぬ優しさや暖かさを持ったスタッフたちに出会うことがあります。そんな時、教えられることの多い、やりがいのある仕事だと感謝しています。

今、取り組んでいるのは



ネットワーク作りと、精神に障害ある人の雇用のさまざまな問題です。各支援センターや関係機関などと問題解決に向け努力しています。このような私の仕事、そして職を求めている障害のある人がいることをご理解いただければと思います。



最近、人と人が力をあわせていけばなんとかなると考えるようになって来ました。就労を軸として私も障害のある人も住みよい社会づくりに参加していくのだと、確認しあっています。

## お別れ

(平成十七年三月～六月末)

樋口トモ様 三月廿三日寂

長岡市上条

岩佐紀子様 四月五日寂

長岡市御山町

熊倉鐵夫様 四月十六日寂

長岡市中島

大原ツネ様 四月廿六日寂

長岡市東新町

本間美枝子様 五月十四日寂

市川市菅野

石丸和忠様 五月廿六日寂

長岡市川崎

仲村達也様 六月廿三日寂

長岡市美園

南雲廣作様 六月三十日寂

長岡市川崎

ご冥福をお祈り申し上げます。





# 第五回 K A K A 笑の会報告

## 【秦琴】演奏の夕べ

木々の緑も濃くなり始めた五月二十一日、土曜日の夕方、コンサートは始まりました。秦琴を目の当たりにして聞くのは、皆さん初めてとあって早めに席にお着きになった方が多かったです。では当日のプログラムを紹介しましょう。

### 第1部

- 沙羅の糸
- 陽関曲（中国古曲）
- 烈変奏
- （NHKドラマ「蔵」より）
- 晴れのち晴れ
- 千鳥即興

### 第2部

- 尺八と秦琴の即興曲
- 月の砂漠
- 山百合一輪川に流せば
- 五木の子守歌
- 三世の旅人
- 星の大地



深草アキさんの爪弾く秦琴の調べはゆつたりと、どこか愁いを含んだ夕焼け空を連想させて味わいのある曲ばかりでした。「陽関曲」は更に深い音で、「君に勧む 更に尽くせ 一杯の酒 西の方陽関を出

ずれば 故人なからん」と王維が詠じた漢詩をふまえての曲でした。はるか彼方大砂塵の奥に消えゆくらくだに乗った旅人が浮かんで来て、幻想的な雰囲気会場は酔いしれました。

他方では、「晴れのち晴れ」のような軽やかな曲もさすがしく、また共演の菊池雅志さんの尺八も前衛的な演奏を見事にこなし、素晴らしいコラボレーションでした。それもそのはず、一番いい音をお聞かせできるようにと、前日から深草さんのスタッフの、音響係兼照明係さんが大奮闘しての成果だったのです。地震で壊滅的被害に遭った本堂内もコンサートにまにあうように復興がなされ、その素晴らしい音色を増幅、共鳴させてくれました。「山百合一輪川に流せば」の曲は、深草さんの、これまた秦琴の音に勝るとも劣らぬ歌声に魅了されました。そして、プログラムが終わっても席を立つ人が誰もいません。するとどこからともなく会場内から拍手が起り、やがて大きな拍手となって深草さんが再登場。アンコール曲は「荒城の月」。澄んだ五月の夜空に吸い込まれるような秦琴の、郷愁を誘う調べに酔い



癒された貴重な一時間半ではありました。さて、K A K A 笑の会は、新しい文化の発信基地として、日本文化の基である仏教に関心を持ち、現代に生きる仏教の発信の場として安善寺をもっと身近に親しみ、活用してもらおうと発足した会です。

K A K A 笑の会では、年二回楽しいイベントを企画いたします。秋には、シンポジウムを計画中です。近く調整が済み次第、発表いたしますので、どうかお楽しみにお待ちください。なお、会員も随時募集しております。参加費の割引や優先的確保、イベント等の最新情報のおしらせなどの特典がございます。どうかこちらもご加入をお待ちしておりますので、詳細は安善寺（32）2811へお問い合わせください。

いわゆる頭のいい人は、言わば足の早い旅人のようなものである。人より先に人のまだ行かない所へ行き着くこともできる代わりに、途中の道ばたあるいはちょっとしたわき道にある肝心なものを見落とす恐れがある。—『寺田寅彦隨筆集』四



# 旬歌 愁灯

[その八]

## うたかたの恋

加瀬由紀子

南から北の国へ帰ってきたツバメではないが、まだリラ(ライラック)の薄紫の花の薫る北の街へと、誘われるまま旅立つことになった。半年前から予約キャンセル待ちのホテルのレストランが、やっととれたのだ。グルメを自称する女性四名、飛行機とレンタカーを乗り継ぎ、洞爺湖へと向かう。

目的のホテル、「ザ・ウィンザー・洞爺」は山の上の要塞、といった趣で私たちを出迎えてくれた。おりしもロビーでは、外国人ピアニストの演奏が始まっていた。流れてくる調べは、映画「うたかたの恋」フランシス・レイの曲だ。ヨーロッパの王室気分が歓迎しようというこららしい。

このホテルは、かつて北海道拓殖銀行が所有、破綻後経営不振におちいついてた。引き継いだセコムグループが再建を依頼した総支配人、窪山哲雄氏は、独自のコンセプトを持った料亭(京都の美山荘)などに出店を依頼、ひと味(一けた?)違う世界に名だたるリゾートホテルを誕生させてから二年。



今や「ワインザー詣で」なる言葉もできるほどの人気ホテルとなり、瞬間的に日本一の売り上げを記録するなど窪山支配人の並々ならぬ手腕も、今回のチェックポイントなのだ。

一番の呼び物のレストランが「ミシェル・プラス」。パリ郊外のオーブラックにある三つ星の店、その唯一の支店が洞爺湖を見下ろす十一階にある。かなりのお値段にもかかわらず、予約を取るのが至難の業というこのレストランの魅力は何だろうか?

配人、窪山哲雄氏は、独自のコンセプトを持った料亭(京都の美山荘)などに出店を依頼、ひと味(一けた?)違う世界に名だたるリゾートホテルを誕生させてから二年。

エレベーターを降りて、せせらぎのあるアプローチの案内するのはフランス人の給仕長だ。「ボンソワール」と言うと「ボンソワール、マダム」と応えてくれる。ここは日本ではない。ギャルソン(給仕)がメニューを持って現れる。注文は伝え聞いていた「発見と自然」にする。続いてソムリエの登場。フランスから空輸したという二万本の載っ

ている分厚いワインリストを開けるとこれまたゼロがひとつ多いワインが並んでいる。シャブリなど、ヴェンテージの前後年に渡って揃えてある。

食前酒に無難なキール、メインに白のヌフ・デュ・パフ九十八年を選ぶ。

では、華麗なるメニュー

この世は無常迅速というてある。その無常の感じは若くてもわかるが、迅速の感じは老年にならぬとわからぬらしい。倉田百三「出家とその弟子」



# 仲良くしななければ...

ペコのひとりごと

紫陽花があちこちできれいに咲いています。それにしても、未だに梅雨入り宣言がないのです。昨年七月のようにまとまって降らなければ良いのですが...。そんな事でもなると地盤が緩んでいる処はまた、大変な災害になりますからね！  
月日の経つのは早いも

ので雪解けとともにもの凄いい音がしたと思つたら、奥の木造の建物がみんな無くなつてしまい、土蔵も壊され見晴らしが良すぎて少々無用心の感じがしないでもありません。

りませんか...。そんな時、お納骨があつたのですが、住職がお骨を安置してある場所に行くのも本堂に張り巡らされたシートをかき分けやつと辿りつけるような状態でした。そんなですから私も否応なしにさくらと仲良くしざるを得ず、先日、お腹がペコペコだったので、お母さんを大きな声で呼びました。必死だったので多分変な声だったかも知れませんが、「凄いい声をだすわねー」と言つて来てくれたのですが、さくらも一緒に付いてくるではありませんか。そして私のご飯の用意をしているお母さんの手元をジッと目を離さずに見ているのです。少し前の私だったらごはんどころではなく、その場を去りましたが、五十センチ位の至近距離でも我慢して待っていました。そうし



第三十一号、秋号は平成十七年九月十二日(月) 発行予定です。

### お便り原稿用紙

季刊誌では、壇信徒・読者の皆さまと、ごいっしょに誌面をつくりながら、コミュニケーションを深めたいと思います。ハガキまたはお手紙、ファックスなどで、お気軽にお便りをお寄せください。お待ちしております。

#### 原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問(編集部や住職がお答えします)など。
- 嬉しい・楽しい／嬉しかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、怒ったこと。

たらお母さんは、最初は私に、次はさくらにと交互に餌を与えてくれました。さくらへの食べ方のなんと早い事。油断していると私の方に差し出された餌まで食べられてしまいそうです。でもそんなときのさくらの目はキラキラ輝いて、体は大いけれど可愛い犬だなーと思えました。

最近こんな事が多くなり、また部屋も少なく、お客さまが来られると本当に部屋が足りないのです、私もさくらも仲良くしななければと思います。

檀家の皆さんの中にも仮設住宅に入居された方もおられると思います。改めてお見舞い申し上げます。辛いことばかりと思いますが、小さな希望や喜びを見つけようではありませんか。私ごとですが、地震のおかげで一つ嬉しいことがありました。それはダイエツトができた事です。忙しかつた事と精神的に追いつめられたせいでしょうか、十二月頃に四キロほど体重が減っていました。以前にもダイエツトに励んでおりましたが、すべて失敗でした。先日、古い体重計を捨てデジタル体重計を購入、さつそく計つてみると、なんと今までの体重計より一キロ以上も増えて表示されているではありませんか。壊れていると思いきや、壊れていたのは古い体重計、なんともがっかりです。でも、気を取り直して再度挑戦です。地震で人生が変わった方も多いと思いますが、「げんきだしていこー中越」でいきましょう。

室賀清輝